

データの多様な分析処理が必要な用途に!!

イメージ

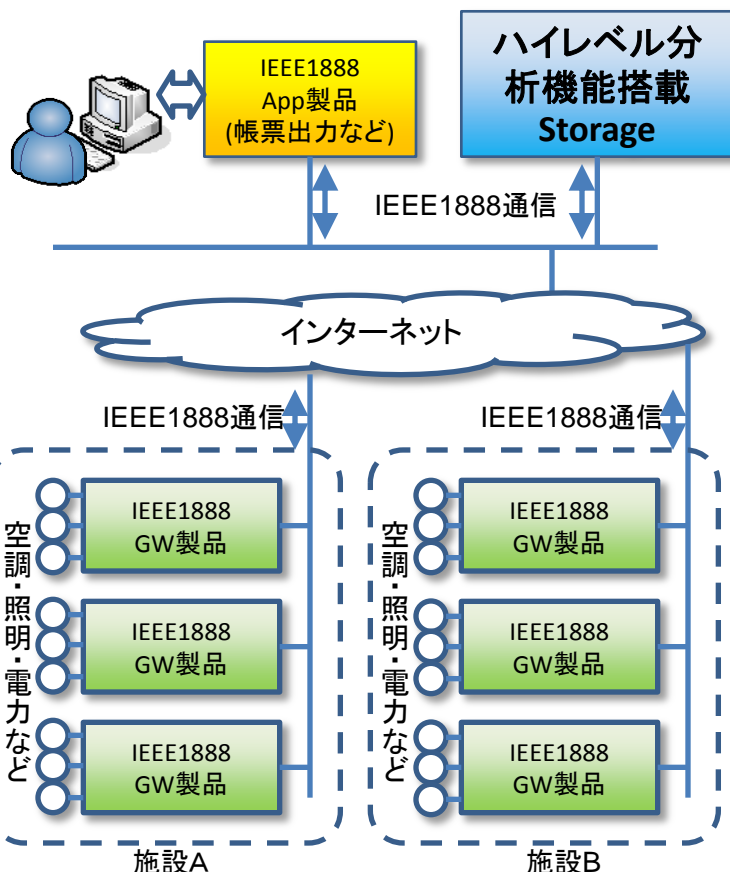
※イメージ写真



※特徴

センサなどから大量に発生する計測データを吸い込み、保管します。その際に、必要な前処理を実行することができるため、計測値の補正が必要な用途や、フィルタ処理(移動平均等)を適用する用途、長時間にわたる統計値の計算、が求められる用途において威力を発揮します。Appデバイスと組み合わせることによって、設備利用状況の見える化、帳票出力、トレンド予測、警告通知など、あらゆる用途に応用できます。

※応用例



※デバイス仕様

ネット接続	1000BASE-T IPアドレス設定: DHCP or 手動 HTTPプロキシ: 設定可能
IEEE1888	データ収集: WRITEサーバ, FETCHクライアント データ提供: FETCHサーバ, WRITEクライアント 最大ポイント数: 4000 蓄積データ容量: 10億個 最大同時読出しセッション数: 100 最大データ登録速度: 1000個/秒 最大データ読出速度: 2000個/秒 前処理プログラミング: 簡単な処理はスクリプト記述により対応可能JavaによるPluginを組み込み可能
電源	AC100V - 240V (50Hz/60Hz) 消費電力 100W
サイズ	W431 x H42.6 x D393.7 [mm]
動作温度	15°C ~ 25°C
質量	約2kg